

科目名	健康栄養情報論2 (NR・SA 必修)				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022 年度 後期	単位数	2		
担当教員	左 一八、飯塚 美伸、渡邊 悦子				
内容および計画	健康増進法が施行されて以来、保健機能食品や「いわゆる健康食品」が大量に流通しており、これらを正しく利用する情報・知識を得ることが健康維持に重要なことになっている。そこで健康栄養情報論 I の知識を基に、「健康食品」の有効性・安全性を考慮し、健康維持・増進を目的とした適正な使用方法や摂取方法を理解すること、これらの情報や過剰摂取によるリスクの回避をはかるための情報提供者になるための情報収集方法や情報提供の仕方を演習を交えて習得することを目的とする。				
1	臨床栄養と臨床検査				
2	行動科学とカウンセリング 行動科学と現代心理学、学習理論、行動療法および認知行動療法				
3	行動科学とカウンセリング 保健指導を支える心理学の理論、行動変容と心理学的技法、カウンセリングの方法				
4	行動科学とカウンセリング 認知行動療法、カウンセリング技法による疾患へのアプローチ				
5	人間栄養学 栄養学概説、栄養素の機能				
6	人間栄養学 日本人の食事摂取基準				
7	生活習慣病概論 生活習慣病とは、日本人の疾病				
8	生活習慣病概論 疾病の発症における遺伝的要因と環境要因、特定健診・保健指導				
9	生活習慣病各論 (I)				
10	生活習慣病各論 (II)、タバコとアルコール、合併する疾患				
11	食品機能の科学的根拠 動物試験と in vitro 試験、ヒトを対象とした試験				
12	食品機能の科学的根拠 機能性および安全性の科学的根拠、科学的根拠に基づく情報入手				
13	身体活動と栄養 ライフステージと身体活動、スポーツ医学と栄養				
14	身体活動と栄養 代謝およびアセスメント、生活習慣病予防と治療における運動療法				
15	健康・栄養に関する話題				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	NR・サプリメントアドバイザー必修 第5版	『一般社団法人日本臨床栄養協会』編	第一出版	9784804114309	2021
適宜、授業内容に関連した資料、プリントを配布して多角的な視点で講義を進める。					
参考書					
成績評価					
	評価方法				割合(%)
出席状況					30
定期試験					70
授業開始直後に名前を読み上げて出席確認をします。					
学習到達目標	①栄養アセスメントと栄養療法について説明できる。				

	②保健指導、行動療法の理論、技法について説明できる。 ③栄養素の機能について説明できる。 ④生活習慣病について説明できる。 ⑤科学的根拠に基づき食品機能について説明できる。
先修条件	健康栄養情報論 I
実務経験	
その他	